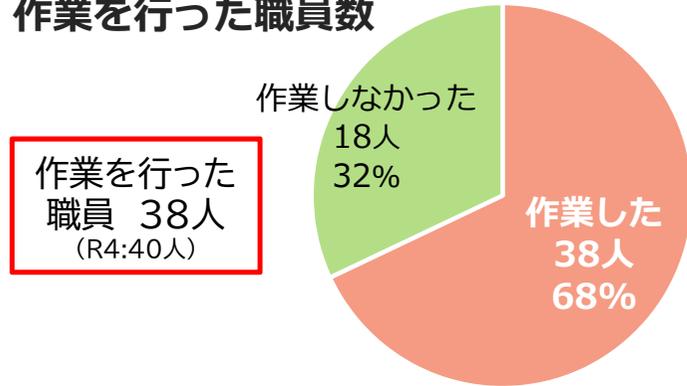


令和5年度「やまがたチェリサポ職員制度」の実施結果について

令和5年9月12日
農林水産部

1 作業を行った職員数



- 許可を受けた職員のうち、約7割の38人が実際に作業を行った。
- 作業しなかった理由は、「個人や家庭の事情」や「日時や作業地の希望が合わなかった」とするものが多い。

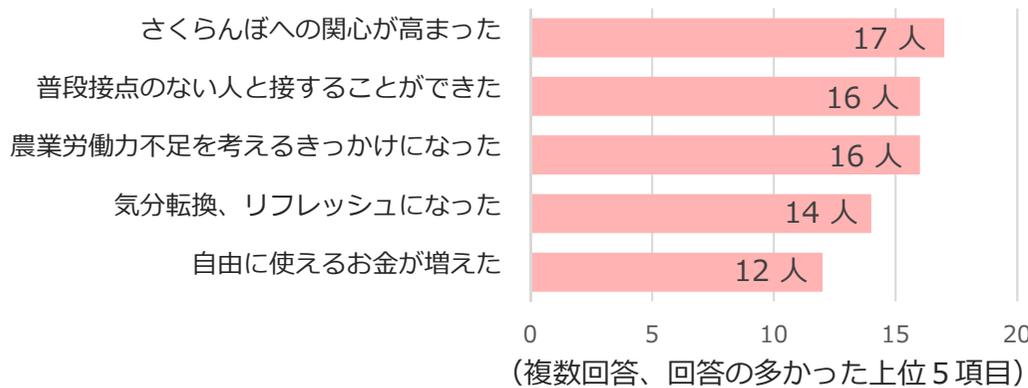
2 作業日数及び作業内容



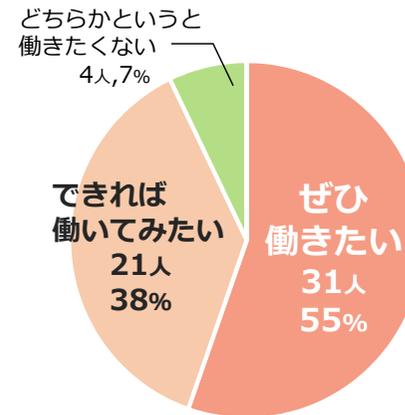
- 従事可能期間が延長され、作業日数は延べ168日で前年度より49日増加（前年比141%）し、1人当たりの作業日数の平均も4.4日と前年度より1.4日増加（前年比147%）。
- 収穫作業を行った職員が最も多く、次いで選果・箱詰めが多い。従事可能期間の前倒しにより、摘果や葉摘み等の収穫前作業も見られた。

チェリサポ職員制度許可者へのアンケート調査結果（回答数：56人／56人中）

○ 作業後の感想



○ 今後の作業従事への意向



○ 主な理由

【ぜひ働きたい・できれば働いてみたい】

- ・ いつもと違う体験で、心身共にリフレッシュしたい。
- ・ 収穫の喜びやお客様へ提供できる幸せを実感したい。
- ・ 人手不足の解消に貢献したい。

【どちらかという働きたくない】

- ・ 家庭や個人の都合を優先したい

- 作業を契機にさくらんぼへの関心が高まったという感想が最も多い。
- このほか少数意見として、運動不足の解消になった、生活リズムを整えることができた、などがあつた。

- 93%の職員が、今後も働きたいと回答。
- 今後も働きたい理由は、自身の満足感の充足や、人手不足の農家の手助けになりたいとするものが多い。